



次世代の意見を 市政に

高校生・中学生と 市長と語る会

園学校教育課（教育会館2階） ☎88-8112

勝山市のこれからを担う若い世代の意見を市政に取り入れるため、昨年度から山岸市長と生徒が直接言葉を交わす「市長と語る会」を開催しています。生徒それぞれが考え、勝山市が目指すべき姿について、様々な提案や要望が出され、市長もそのひとつひとつに真摯に回答しています。

最初は硬い表情で話す生徒たちも、緊張がとけるにつれ笑顔を見せ、その熱い思いを語ってくれています。

ここでは、市長と語る会に出された意見を抜粋し、市の考えと合わせて公表します。それぞれの会の議事録は市の公式ホームページで公開しています。勝山に住む中高生がどんなことを考えているのか、ぜひ一読ください。

中学生と市長と語る会の様子は
こちらから



高校生と市長と語る会の様子は
こちらから



生徒からの提案

市からの回答

の絵付けなどを計画しているので、皆さんにも参加していただけるよう検討する。

市政について

●勝山の目

提 「勝山の目」を作ったのはどうか。家族でゆっくり団らんしたり、勝山の自然と触れ合ったりすると、市民のやる気と手ごたえが強まると思う。

回 全国には1年に1日「市民の日」を設けている自治体があり、その日は郷土の歴史や自然、文化に誇りを持ち、郷土愛を深めることとしている。面白い発想であり、ぜひ検討したい。

●学校全体で手伝えたい

提 大きなイベントがあるなら、子どもから大人までが企画から参加できるイベントがいい。そのようなイベントがあれば学校全体で手伝えたい。

回 夏の帰省時期に「勝山灯りまつり」を開催している。音楽イベントや灯り

教育について

●更なる体験活動を

提 14歳の挑戦のような活動をもっと増やしてほしい。勝山全体がひとつになつてふれあい学べる機会が増えれば、ふるさと勝山の未来を支える学校ができると思う。

回 非常に肯定的・意欲的な意見が聞けてうれしい。日数を増やすことは授業時間数の関係で難しい面もあるが、活性化や産業振興に関する情報提供などに努めたい。

産業について

●企業と意見交換したい

提 学校全体と勝山全体でつながる活動をした。生徒会と市内企業を交え

て意見交換する場をもうけてはどうか。

回 市内企業の高い技術力や魅力ある商品を市民に紹介する「勝山産業フェア」を開催している。ぜひ参加してほしい。意見交換会については商工会議所などと相談し、実現の可能性について考えたい。

回 かつやま恐竜の森に似た遊具がある。もっと大規模なものを作りたい思いはある。場所など提案があればまた検討したい。市内にスキー場があるのは幸せ。楽しみを持って、勝山のいいなを感じとり、好きになつてほしい。

回 高年齢者でも安全な遊具などを設置する。観光客も増え、高齢者の健康維持につながり、日本で一番健やかなまちになると思う。

提 ●誰もが集まれる場の提供
市内に子どもからお年寄りまで楽しめる場所が少ない。建物の空いているスペースや空き家を使って学生主催のカフェやお年寄り向けのカフェを作るとよい。

回 ゆめおれ勝山にはそのような場所を作った。誰もが気軽に楽しめる雰囲気のカフェを作るのはいいこと。市の補助金もあるので、20代、30代で何かやってみようという人は少なくないと思う。

回 「九頭竜川勝山あゆみ」という商標を漁業協同組合が取得した。道の駅は九頭竜川のほとりに建設するので、鮎を売り物にした道の駅にしたい。子どもたちが鮎のつかみ取りができるようなしづらえにし、イベント化した

回 「九頭竜川勝山あゆみ」という商標を漁業協同組合が取得した。道の駅は九頭竜川のほとりに建設するので、鮎を売り物にした道の駅にしたい。子どもたちが鮎のつかみ取りができるようなしづらえにし、イベント化した

観光について

提 ●山を活用したまちづくりを
私たちのまわりにある豊かな自然を活用し、



勝山高校生と市長と語る会
平成30年8月1日開催
学校を代表する生徒10人が参加しました。



奥越明成高校生と市長と語る会
平成30年10月24日開催
学校を代表する生徒6人が参加しました。



中学生と市長と語る会
平成30年11月21日開催
市内3中学校の各生徒会から9人が参加しました。

